

法要・福祉講座・吹奏楽



4月6日(日)午後1時～徳成寺で、春の法要が勤まりました。当日は、この時期としては寒く、はっきりしない天気でしたが、そんな中でも、たくさんの方がご参詣お焼香して下さいました。赤ちゃんから、高校生、そして年配の方まで幅広い年代の方にお参り頂き、とっても有難かったです。

福祉講座は介護施設を運営する大西章司さんが「介護の目的は介護に非^{なごみ}ず、心の和みこそ」と題して、お話しして下さいました。仏教の「和顔施^{わけんせ}」を取り上げて、人に優しく接することこそ介護の目的であり、それは他人事でなく自分もそう接せられたいからと説明されました



寺ともサービスデーには、香川大学の吹奏楽団の皆さんに来て頂きました。前半では「春一番」や「いい日旅立ち」など、春にちなんだ曲を6曲ほど演奏して下さいました。トランペットやサクソスなどの金管^{なご}楽器の音色が、心をより一層和ましてくれました。



後半には、打楽器も加わって、大いに盛り上げて頂きました。中でも松任谷由美の「春よ来い」は、隣の公園の満開の桜と相まって、参加者の胸にグッと来るものがありました。

